閉山時の建物の配置図

現在も約半数の建物が残っています。

職員社宅 鉱員社宅 採炭関連施設 その他建物

見学施設 (見学広場·見学通路)

※この区域以外に立ち入ることはできません。



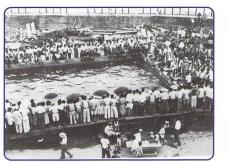
鉱山の中枢であったレンガ造りの建物です。総合事 務所の中には、炭鉱マンのための大きな共同浴場が ありました。浴槽はいつも真っ黒だったそうです。こ の周辺には多くの建物がありましたが、現在ではその ほとんどが崩壊しています。

総合事務所

の景観を生み出しています。







1958 (昭和33) 年完成。それまでは、小中学校 の前にありましたが、台風で大破したため移転建 設されました。25メートルプールと幼児用プール が併設されましたが、海水を使っていました。 65号棟屋上の幼稚園にもプールがありましたが、 こちらは完成した1952 (昭和27)年当初から水道 水を使っていました。



30号棟・31号棟アパート

炭車修理工場 選 オリバーフィルター室 電気倉庫 国

見学通路 (旧)積込桟橋橋台



1916 (大正5) 年に建てられた30号アパート は、日本最古の7階建て鉄筋コンクリート造の 高層アパートといわれています。鉱員社宅と して建設され、内庭には吹き抜けの廊下と階段 があり、地下には売店もありました。31号棟鉱 員社宅には、地階に一般用の共同浴場があり、 1階には郵便局や理髪店も設置されていまし





精炭(精選された石炭)は、この ベルトコンベアーによって貯炭場 に蓄えられ、石炭運搬船に積み込 まれました。今はその支柱が残る

貯炭ベルトコンベアー





1958 (昭和33) 年完成。 命がけで採炭 に励む鉱員やその家族の健康を守って くれる病院の存在は、端島に住む人々に とって、さぞ心強かったことでしょう。

端島病院·隔離病棟

天川の護岸

ライフライン

明治期、島の拡張に伴う護岸づくりは、石灰と赤土を混ぜた天川 (あまかわ)と呼ばれる接着剤を用いた石積み工法により盛んに行わ れました。この擁壁は現在でも島内の至る所に残っており、端島独特





見学通路

プール

第3

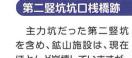
見学広場

電気や水道の確保は、端島で は切実な問題でした。電気は当初、 島の自家発電で供給されていま したが、人口の増加などに伴い 電力不足となったため、1918 (大 正7) 年に高島から海底ケーブル が敷かれ、送電されるようになり ました。



船で運ばれるようになり、高台にある貯水槽に蓄えられ、数か所の共同水 栓から配給されるようになりました。風呂の水は海水を沸かしたもので、 上がり湯だけしか真水を利用できませんでした。1957 (昭和32)年には対 岸の三和町から6.500メートルもの海底送水管が敷かれ、送水されるように なりました。これにより、端島での給水制限はなくなりましたが、高級職員 用のアパートであった3号棟以外のアパートには室内風呂は設置されず、 公衆浴場が利用されていました。

昭和30年代からプロパンガスが利用されましたが、それまではかまどを 使っていたため、アパートには煙突がありました。



見学広場

を含め、鉱山施設は、現在 ほとんど崩壊していますが、 かろうじて第二竪坑へ行く ために設けられた桟橋へ の昇降階段部分が残って います。



ドルフィン
桟橋

見学広場



積込室 ___

積込桟橋橋☆

端島神社

見学通路

危険と隣り合わせの鉱員たち にとって、神社は心の拠り所であ り、毎年4月3日の山神祭は全島 を挙げて盛大に行われました。 神殿の下に拝殿もありましたが、 倒壊してしまい、現在は祠のみ が残っています。





資材倉庫

20 t クレーン

端島小中学校

グラウンド

69

1893(明治26)年、三菱社立の尋常小学校が岩礁の上に設立されま したが、1921(大正10)年に町立となり、校舎は現在地に移設されまし た。1958(昭和33)年に建設された現存の建物は7階建てで、1階から4

階までが小学校、5階と7階 が中学校、6階には講堂、図 書館、音楽室、7階には理 科室などの特別教室が設 けられていました。1970 (昭和45)年には体育館や 給食設備なども新設され、 給食を運ぶ島で唯一のエ レベーターもありました。



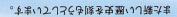


建物一覧表

	建物名	建設年代	構造・階数	住居戸鼓	建設用途
	1号	1936 (昭和11)年	木造1階	-	神社
	2号	1950 (昭和25) 年	RC造3階	9	職員社宅
	3号	1959 (昭和34) 年	RC造4階	20	職員社宅(幹部用·風呂付)
	5号	1950 (昭和25) 年	木造2階	1	砿長社宅
	6号	1936 (昭和11)年	木造2階		職員単身寮
	7号	1953 (昭和28) 年	木造2階		職員クラブハウス
	8号	1919(大正 8)年	RC·木造3階	4	共同浴場(1階)・職員社宅
	12号	1925 (大正14) 年以前	木造3階	3	職員社宅
	13号	1967 (昭和42)年	RC造4階	12	町営住宅(教職員用)
	14号	1941 (昭和16)年	R C 造 5 階	15	職員社宅(中央住宅)
	16号	1918(大正 7)年	RC造9階	66	鉱員社宅)
	17号	1918 (大正 7) 年	R C 造 9 階	54	鉱員社宅
	18号	1918 (大正 7) 年	RC造9階	50	鉱員社宅 > (日給社宅)
	19号	1922(大正11)年	RC造9階	45	鉱員社宅
	20号	1922(大正11)年	RC造7階	26	鉱員社宅
	21号	1954 (昭和29) 年	RC造5階	15	警察派出所 (1階)·鉱員社宅
	22号	1953 (昭和28) 年	RC造5階	12	老人クラブ (1階)・役場 (2階)・町営住宅 (公務員) カモメ荘
	23号	1921 (大正10) 年	木造2階	6	社宅 (1階)·寺院 (2階·泉福寺)
- 1	25号	1931(昭和 6)年	RC造5階	6	宿泊所(1~2階)·職員社宅
	26号	1966 (昭和41) 年	プレハブ2階	8	下請従業員住宅
	30号	1916 (大正 5)年	RC造7階	140	旧鉱員社宅(下請社宅)
	31号	1957 (昭和32)年	RC造6階	51	地下共同浴場·郵便局(1階)·鉱員社宅
	39号	1964 (昭和39) 年	RC造3階	-	公民館
	48号	1955 (昭和30) 年	RC造5階	20	鉱員社宅(地階パチンコ店等)
	50号	1927(昭和 2)年	鉄骨2階		映画館 (昭和館)
	51号	1961 (昭和36) 年	R C 造 8 階	40	鉱員社宅
	56号	1939 (昭和14) 年	RC造3階	6	職員社宅
	57号	1939 (昭和14) 年	R C 造 4 階	8	商店 (1階)·職員社宅
	59号	1953 (昭和28) 年	RC造5階	17	地下購買会·鉱員社宅
	60号	1953 (昭和28) 年	R C 造 5 階	17	地下購買会·鉱員社宅
	61号	1953 (昭和28) 年	RC造5階	17	共同浴場(地階)·鉱員社宅
	65号(北棟)	1945 (昭和20)年	RC造9階		鉱員社宅
	65号(東線)	1949 (昭和24) 年	R C 造 10 階	317	鉱員社宅·屋上幼稚園
	65号(南楝)	1958 (昭和33) 年	R C 造 10 階		鉱員社宅
	66号	1940 (昭和15) 年	RC造4階	-	鉱員合宿 (啓明寮)
	67号	1950 (昭和25) 年	RC造4階	48	鉱員合宿(単身寮)
	68号	1958 (昭和33) 年	RC造2階	-	隔離病棟
	69号	1958 (昭和33) 年	RC造4階	-	端島病院
	70号	1958 (昭和33) 年	RC造7階	-	端島小中学校
	71号	1970 (昭和45) 年	RC造2階	-	体育館

※RC造:鉄筋コンクリート造





、ブノムへ一の新資放斠の「対地重関とロ山・州九 新遺命革業新の本日出明」 されらか蕭 批ご新農小文界世ご月62月1年4102、社市で「島歂」さいフィンでに利服いみ、釜山閉雄場 。式しまいなころよるおいました。 は似ていることなります。

[去土] 鑑軍が賭やの子ぶ並さ立がイーパで 商幾層高、ノ田多朴全島、社塾岩、ブ島の雄崇国新 なち小で、JJm000、E8(株野面、m002、F)株田周、m08 F(株二)西東、m08 F(株二)北南、紅島談 2.5km、長崎港から南西に約19kmのか合いに位置する「端島(はしま)」。

長崎半島から西に約4.5km、三菱石炭鉱業(株)の主力炭鉱があった高島から南西に約



長崎市

軍艦島資料館

伊王島

高島

高島石炭資料館

端 島(軍艦島)

上陸にあたっての注意事項

- 1. 見学施設区域 (見学広場・見学通路) 以外の区域に立ち入らないでください。
- 2. 見学施設においては、次の行為をしないでください。
 - (1) 柵を乗り越えるなど危険な行為(4) 喫煙
 - (2) 施設を汚す行為
- (5) 他人の迷惑となる行為
- (3) 飲酒(船内を含む)
- 3. 安全誘導員その他の係員の誘導・指示に従ってください。
- 4. 見学施設を安全に利用するのに適した衣服・靴を着用してください。
- 5. ごみは持ち帰ってください。
- 6. 未就学児童又は身体障害者等一人での歩行が困難な方には、保護者又は 介助者が同行してください。
- ※ 見学施設は、気象又は海象条件によって利用できないことがあります。 利用できないときは、施設見学料はお返しします。
- ※ 飲酒されている方は、危険防止のため見学施設の利用はできません。
- ※ 小学校の児童については、保護者の承諾書が必要です。

施設見学料

※上陸に際しては、 別途船代も必要となります。

	個 人	団体 (15人以上)
一般 (12歳以上)	300円	240円
小学校の児童	150円	120円

軍艦島を学ぶ

軍 艦 島 資 料 館 TEL.095-892-0078 (長崎南商工会青年部) TEL.095-822-8888 高島石炭資料館 TEL.095-896-3110 (長崎市高島行政センター)





。式しまひあきろこるを多隣見飲大 で校園、お今人の島のSc 介費コ風台 、化式してのよるを解る剝黙却大阪の飲 るいかい襲い考りの風台い特。式しま

長崎市コールセンターあじさいコール

お問い合わせ





。式しまい **は覗** 5人商 計 5 月 日なり、多くの住 製市空青心し妣園 **鉱サモ」 か 談 道**

。もう夫工のおうらな島歂。こもしうの式に休し利休 ないと式に式園菜土量の所本日がパン。式しまて育玄菜裡や芥 、心重去土コ土量のイーパマフした湖からなAT9、めま式cか なが、所談るフ育多今木、が式しまいてころろき遊職楽製とない 一木仁くモハヴ館画知、休利の刮商、剝雨が効学、おう島齢



79量09

李(64時間) 4761	1月16日端島雄が閉山。同年4月20日に無人島になり、現在に至る。
李(07唑器)9961	(。式し融来でま山間)。設開演出のも於藤火三
本(06時間) 3361	。 るなら 島
4946 (昭和20) 年	。るを炎水七受玄雷魚が水夷白の中必薄場子
李(910年間) 1461	。加玄玄(1001、1714経信高最岚出間中
李(41五大)年	よるでは、発送、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
平(3 五大) 8161	。如完十一八个層高磁維の所量本日
李(62宗師) 9681	し融珠で末幸2861,∪倘閧でまmtðt)。於開放於韓三業 (。う
本(825(明) 2881	、て宗仏勢佐にす4681、八間間の末に801。 京都の京都には後により、 (。式し既珠で末田間、ひ及に1491年また。)
字(825) 年	。多など営器の養三 との1010年の計算が一般では、過剰を受けて で1891年から発展を開発した。
平(02公明) 7881	よこ災火内社中7681、U哨開でもm44)。社開化社2里一業 (。 されち機関の

。式し営器が等間六系島離主窮肆衆 4870(明治3)年

審質 卦、 後の 子。 手帯 引 於 関 の 孤 島 颛 、 竹 五 秀 山 小 の 草 天 端島で石炭炭泉(高島では、1696年に石炭発泉)。その頃 の端島は草木のない水成岩の瀬にすぎなかった。 平(7 小文) 0181

表辛島歂

G U N K A N J I M A

端島の歴史

端島では、1810年頃に石炭が発見され、佐賀藩が小規模な採炭を行っていましたが、 1890年三菱合資会社の経営となり、本格的海底炭坑として操業が開始されました。

出炭量が増加するにつれ人口も増加し、狭い島で多くの人が生活するため1916年 には日本初の鉄筋コンクリート造の高層集合住宅が建設され、最盛期には約5,300人 もの人々が住み、当時の東京都の9倍もの人口密度にまで達しました。

エネルギー革命により、エネルギーの需要が石炭から石油に移ったことで、出炭量 も人口も徐々に減少し、1974年1月に閉山した後は、同年4月に無人島になりました。

島内人口と出炭量の年次変化



資料:三菱鉱業セメント株式会社「三菱鑛業社史」「高島炭礦史」、建築学会論文「軍艦島の生活環境(その2)」長崎造船大学(現 長崎総合科学大学) 片寄俊秀教授

▲ 屋上菜園

▲ 屋上に土を運ぶ子どもたち

炭坑の仕事

1891年から1974年の閉山まで約1,570万トンもの石炭を採掘した「ヤマの男」たち。 海底炭鉱である端島での採掘作業は、海面下1,000m以上の地点にまで及びました。 勾配はきつく、気温30℃、湿度95%という悪条件のもと、ガス爆発など常に危険と 隣り合わせの仕事はとても過酷なものでした。鉱内で交わされる「ご安全に」という 挨拶に、「絶対に事故を起さない」という気持ちが込められていました。

端島海底炭坑鉱区領域図 端島主要坑道 端島補助坑道 1.100 (m) 600 旧 採掘跡区域 ツ瀬主要坑道 端鳥 (雷艦皇) 三ツ瀬補助坑道 第四竪坑 断面位置 三ツ瀬採掘区域 第二竪坑 資料:鉱業所資料

√ 炭車による硬 (ボタ) の搬出 坑木を満載した「枠台車」を 幹線軌道まで押していく

端島海底炭坑断面図 100 上八尺層 胡麻五尺層 -200 磐砥五尺層 -300 第四竪坑底-348.7 -400

4片坑道 -650

5片坑道 -710

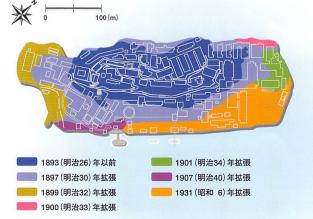
6片坑道 -770 7片坑道 -820 8片坑道 -880

9片坑道 -940

10片坑道 -1,010

島の拡張

当初、草木のない水成岩の瀬にすぎなかったこの小さな島は、採掘技術の発達と ともに、周りを6回にわたって埋め立てる形で護岸堤防の拡張を繰り返し、今日の 島の形状になりました。もともとは現在の3分の1ほどの大きさだったといいます。





中ノ島

-600

-700

-800 -900

-1,000

-1,100



第二竪坑底-606

資料:鉱業所資料

1901年頃

1959年頃